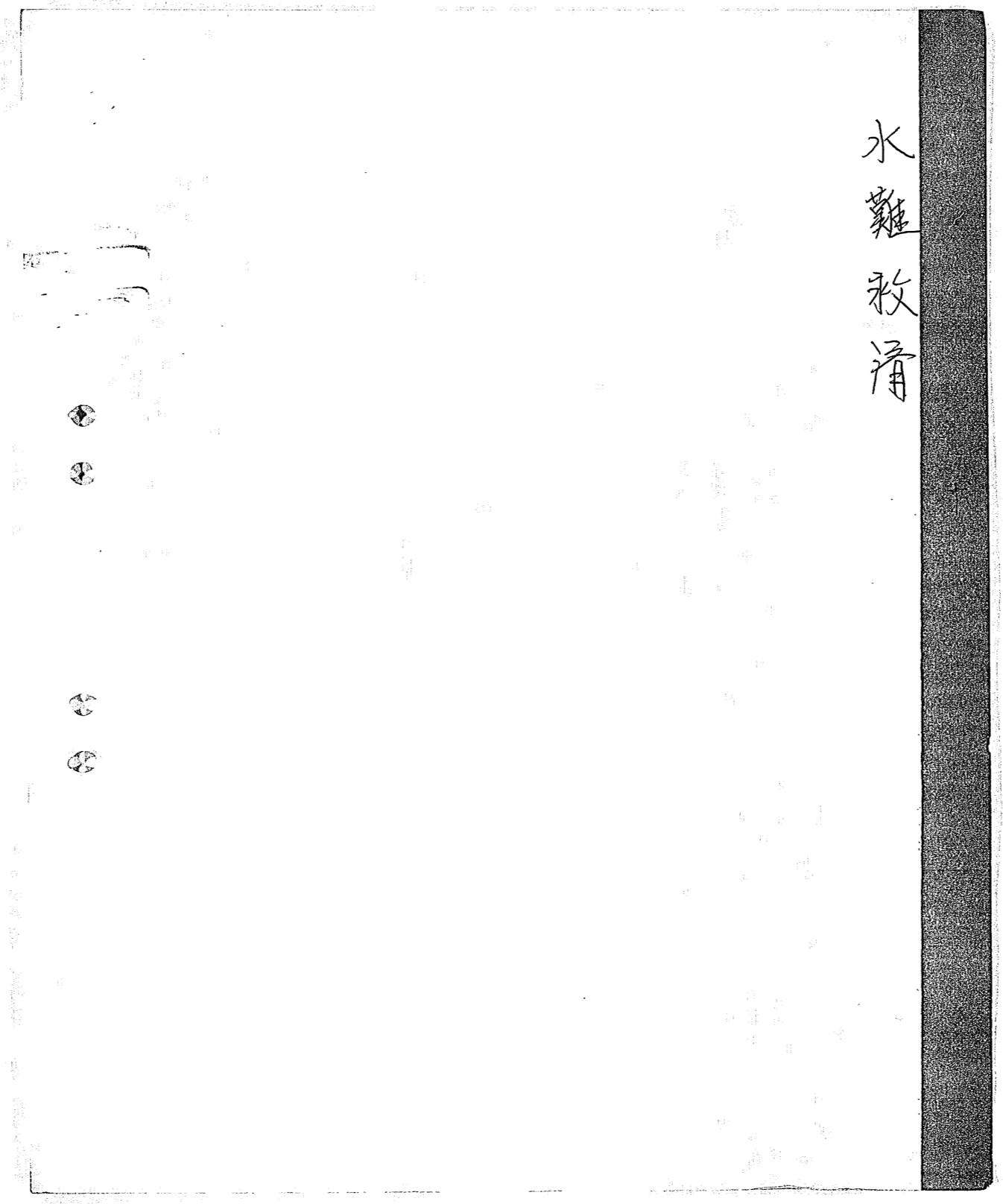


# 琉球大学学術リポジトリ

## 沖縄返還交渉資料第12巻

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43641">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43641</a>

水雞救濟



タイプ指示	発信用	執務用	計
主 信	1	2	3
付			
属			

発送日 昭和36年7月4日  
 発信(月) タイプ 190 校査 済

文書課長 印

公信 北第 1869 号 公信 昭和 36年7月3日 日付

大臣 主管 アジア局長

政務次官 宇山参事官

事務次官

外務審議官

官房長 主任 北東アジア課長 起案者(済) 電話番号 408

(他 議) 官房総務参事官

(回 覽)

受信者 総理府特別地域連絡局長 発信者 アジア局長

写送付先 希望到着期日 月 日  
この欄は至急信のみに使用のこと

件 名 「琉球水難救済会所属救助船建造援助金に関する請願」に関する件

3月27日付総特連第378号をもって仰

公信案(甲) 外務省 回覧番号 2562

No.

照会のある本件に関し、下記の通り  
 回報 した。  
 言已

鹿島島津議員大坪静夫氏から、内閣総理  
 大臣あて 参事官に不承の救助船建造のため、  
 (本件請願あり)  
 日本政対か、琉球水難救済会に対し、資金  
 援助を行うことが適当であるか否かについては、  
 海上保安庁等において検討すべき問題で  
 あること、~~参事官に~~本省に本件請願  
 あり、直ちに對米折衝とす意同好あり世人  
 消去  
 にかんがみ、上記検討の結果、本件救助  
 船建造に米側と協同し、必要か

公信案(乙) 外務省

生じた場合は( )

No.

~~牛乳の輸入(米側との交渉)~~  
 本件は、米側と交渉することになった。  
 なお、本請願の処理経過報告について  
 閣議請議は、共同請議とする必要はないと  
 思料<sup>する</sup>いたします。

公信案  
高裁案(乙)

外務省



アジア局長

参事官

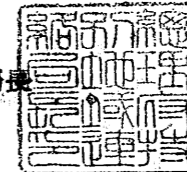
総務参事官

北東アジア課長  
総特連才378号

昭和36年3月27日

外務省アジア局長 殿

総理府特別地域連絡局長



「琉球水難救済会所属救助船建造援助方についての請願」について

鹿兒島県議会議長 大坪 静夫 氏から衆議院に対してなされた標記請願については同院において採択されて別紙のとおり本局に回付されたのであるが、本件請願の内容は貴省の所管事務と関連があるので、本件につき貴見を承知いたしたい。

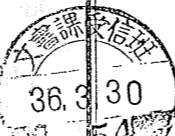
また、本請願の処理経過報告についての閣議請議は、共同請議とする必要があると思料されるが、この点についても併せて貴見を伺いたい。

本信連絡先

海上保安庁長官

外務省アジア局長

四三三  
北東アジア課長の指示を待たずして  
本件を本局に回付されたのであるが、  
本件請願の内容は貴省の所管事務と  
関連があるので、本件につき貴見を  
承知いたしたい。



総理府  
1256

寫

内閣衆議院第149号

昭和35年11月29日

内閣府

(特別地域連絡局)

内閣総理大臣



別紙衆議院において採択された琉球水産技術  
会所属技術員養成補助に関する請願(第3957号)  
は、貴省(庁)主管の件につき、審類を回付す  
る。

なお、本請願の処理経過は、本年末開会の国  
会(常会)の当初に報告をいたしたいので、然  
るべく御配慮願いたい。

寫

衆議院請願課  
昭和35.5.7 受理  
請願才 3957 号

琉球水難救済会所属救助船建造援助方についての請願書

提出者 鹿兒島県議會議長 大坪 静 夫

鹿兒島県議會議員

山中 貞



請願書

琉球水難救済会所属救助船建造援助方について

社団法人琉球水難救済会が戦火により破滅した救難艇「はやとり号」の代船建造を計画し、その建造費援助方について、すでに政府関係機関及び衆参両院に対し陳情されているが、同海域は漁船の漁場への進出、また南方諸国との貿易進展に伴い、貨客船の航行の頻繁にあわせ、年々海難事故は増大の傾向にある。

ことに本県は、隣県として相互救助体制確保をはかる上から、この水難救助船建造に賛同するものである。

よつて、政府におかれては、早急に米国政府に対し善処方要請下さるとともに適切な援助措置を講ぜられるよう。

ここに鹿兒島県議會議員一致の請願をもつて請願申し上げる。

昭和三十五年三月二十四日

鹿兒島県(安議)

大坪 静

夫



衆議院議長 清瀬 一郎殿